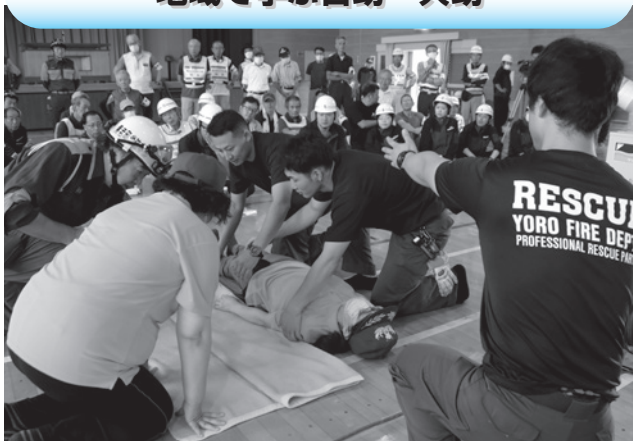


地域で学ぶ自助・共助



8月25日(日)に日吉小学校にて、地域住民の防災意識の高揚を図るとともに地域防災力の充実強化の実現を目的として、県、陸上自衛隊、養老警察署、町消防団、町赤十字奉仕団、町女性防火クラブの協力のもと、町と町消防本部が主催で防災訓練を実施しました。日吉地区と室原地区の防災隊が参加し、避難訓練、防災出前講座、応急手当訓練・展示見学、炊き出し訓練を行い、南海トラフ地震へ備えました。

清流の国ぎふ防災・減災センターの村岡治道さんは講座の中で、「災害対策において重要なことは、自分が主人公となつてなにが危険なのかを確認することです」と話し、参加者はそれぞれが“自分に必要な対策”について考えました。

高田・東部中学校吹奏楽部 合同演奏会



8月25日(日)に町民会館にて、高田中学校と東部中学校による合同コンサート「Summer Joint Concert」が開催されました。初めての試みとなる今回のコンサートは「～音楽が私たちを繋ぐ～」をテーマに行われ、映像やダンスの演出が入った華やかなコンサートとなりました。

コンクールで演奏した各学校の自由曲「草薙の剣」「ハルニレの木」などが披露されたクラシックステージや、各学年による楽曲披露、ポップスステージの三部構成で様々な楽曲を演奏し、コンサートは会場を埋め尽くした大勢の観客からの大きな拍手に包まれて幕を閉じました。舞台上の奏者と観客が音楽をとおして一体となって盛り上がる素晴らしいコンサートとなりました。

災害時の情報収集にドローンを活用



9月3日(火)に町と株式会社大垣自動車学校は「災害時等における無人航空機の運用に関する協定」を締結しました。この協定は、町内において災害が発生した場合などに、無人航空機(ドローン)を活用して災害対応などに必要な映像、画像などの情報収集やその他災害支援について協力いただけるものです。

川地憲元町長は「どれだけ備えを充実させても、災害発生時には想定外のことが起きるものです。ドローンの活用はそういった状況において非常に有効だと思います」と協定に手応えを感じ、同社の岡田正昭代表取締役は「日頃から備えてやっていることしか災害発生時にできません。今後も町と手を取り合って災害に備えていきたいです」と話しました。

災害発生時の物資集積・搬送拠点に



8月26日(月)に町と平安伸銅工業株式会社は「非常災害時等における支援物資受入れに関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時に同社物流センター(直江)を物資集積・搬送拠点として利用することについて定めるものです。

川地憲元町長は「現在、日本各地で災害が発生し、全国的に防災意識も高まっています。町としても南海トラフ地震の発生に対して様々な備えをしている中で、今回締結した協定は非常にありがたいものです」と感謝を述べ、同社の竹内香予子代表取締役は「物流センターを養老町に開設して以来、地域と繋がり、関わってきた恩返しの一歩として提案しました。今後も会社としてできることを考えていきたいです」と話しました。